

令和元年度第2回大府市行財政改革委員会要点記録

日 時 令和元年10月21日(月)

15:00～16:30

場 所 大府市役所2階201会議室

委員

委員長 三浦 哲司
副委員長 坂口 美穂
委員 東村 博子
委員 福永 みつる
委員 古市 晃久
委員 丸山 冬芽

大府市

市長 岡村 秀人 (欠席)
副市長 山内 健次
企画政策部長 新美 光良
財政課長 信田 光隆
子育て支援課長 三ツ矢 誠
子育て支援課児童係長 小清水 崇
子育て支援課児童係主任 谷江 正輝

(事務局)

企画政策課長 福島 智宏
企画政策課企画係長 川出 陽一
企画政策課企画係主任 鈴木 康幸
企画政策課企画係主事 青木 大

【議事】

1 事務事業の外部評価

ア 東山児童老人福祉センター事業(子育て支援課)

(委員)

浴場は改修ではなく撤去ということで理解してよいか。

(子育て支援課長)

そのとおりで、浴場というお風呂の機能はなくなるが、多世代で交流ができる空間に改修していく予定である。

(委員)

最近では60歳くらいの方は老人とは言わないと思うので、児童老人福祉センターという名称も合わせて変えてはどうか。

(子育て支援課長)

条例等の関係で簡単には変えることができないが、神田児童老人福祉センター北崎分館については、愛称「神田っ子プラザ」の方で親しまれており、他のセンターも愛称として考えても良い。

(委員)

東山児童老人福祉センターの浴場見直しについて概ね理解できる。東山児童老人福祉センター以外の浴場についても今後見直すのか。

(子育て支援課長)

大府児童老人福祉センターの浴場は平成19年度に改修した。今のところ廃止する予定はないが、今後は老朽化の具合を見ながら必要に応じて検討していく。

(委員)

老朽化に伴い浴場等を廃止していくことは一理あるが、一定の声を聴きながら施設の利用者を増やす工夫をしていく必要もあると思う。

(子育て支援課長)

お風呂に関しては、今は各家庭に当然あるものになってきて、昔とはニーズが変わってきたと考えている。これからは多世代がふれあえるような事業を考え、施設の時代のニーズに合った運営を行っていく。

(委員)

ニーズは減っているとしても、現在の利用者へのケアについて、ビジョンを上手に伝え、話を進めていく必要がある。

(子育て支援課長)

当然、丁寧な説明で今後の施設の在り方を示していく。

(委員長)

各委員からの意見をまとめると、方向性として浴場を見直していくことに異論はないため、進めていただきたい。ただし、話の進め方は重要であり、段階的にそして慎重に進めていく必要がある。また、改修後どのようにセンターを利用していただくかということを利用者がイメージしやすいように説明していただきたい。

2 大府市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

(委員)

指標について、現状値が低い項目の目標値が低すぎないか。各施策が将来目指すべき姿を達成するための目標値を設定すべきではないか。

(事務局・鈴木)

指標の設定については、同じ時期にスタートする本計画の上位計画、第6次大府市総合計画の目標値と関連づけて設定している。本計画は5年間の計画であるため、10年間の総合計画目標値のおおよそ半分を本計画の目標値と設定した。御指摘のとおり、もっと上を目指したいところであるが、現状を踏まえて少しずつ積み上げていきたいと考えている。5年後に目標値を達成できれば、そこから更に上を目指していきたい。

(委員)

定住志向の指標については、平成26年の基準値86%から少しずつ近年下がってきているのに今回90%を目標値とするのは逆に高すぎないか。

(事務局・鈴木)

住みよさという項目は、まちづくりを行っていく上で、究極の目標であると考えている。他市町に比べると比較的高いと考えているが、なんとか90%にしたいと考えている。まちづくりの内容を充実させていくだけではなく、市の取組を市民の方にしっかりと伝えていくことで目標を十分に実現でき

ると考えている。

(委員)

商業・観光振興におけるK P I、観光入込客数とは何か。

(事務局・川出)

愛知県が公表している統計データの1つである。本市でいうと、つつじまつりや産業文化まつり等の来場者数の積み上げが観光入込客数となる。

(委員)

安全安心の観点から、防災の項目はないのか。

(事務局・川出)

総合計画には当然防災の項目はある。しかし、本計画は、地方の人口減少に歯止めをかけ、国内全体の活力を上げようとする地方創生の取組に該当するような雇用創出やにぎわい等が中心となった計画であり、防災の項目は入っていない。

(委員)

自動車産業の影響力が強いのは把握しているが、工業振興に比べて農業振興の事業が弱いと思う。また、空家対策について具体的に教えてほしい。

(事務局・鈴木)

工業振興については、ウェルネスバレー地区に自動車関係以外の産業立地を推進していく。また、農業振興についても、担い手についての課題があるが、若い農家さんがどぶろくを作ったりする等、6次産業化の動きをもっと推進し、これらを計画に落とし込んでいく。空家については、空家が近隣に迷惑をかけないようにする対策に加え、空き店舗については、空き店舗の活用に対する補助金制度を始めている。

(委員長)

各委員からの意見をふまえつつ、戦略を策定し、進めていただきたい。